

**【校訓】**  
すなおに・たたく・はつらつと・たくましく

**【学校教育目標】**  
なりたい自分を求め、自ら考え判断し、行動する生徒の育成

**【目指す生徒像】**

- すなおに 明るく、心すなおな生徒
- たたく 礼儀正しく、思いやりのある生徒
- はつらつと 新たなことに進んで活動する生徒
- たくましく 物事を最後までやり抜く生徒

心が通う「挨拶」 心を伝える「拍手」 心に響く「歌声」

**【学校経営の重点キーワード】**  
「自律と共生」～社会へ踏み出す力づくり～

- ◆自律～PDCAを意識しながら、自ら行動する力
- ◆共生～違いを理解し、共に支え合って生きていく力

**特色ある教育活動**

- 多様性の尊重
  - ◆「自律」と「共生」を大切にした学校生活  
自己決定・自己肯定感・共感的人間関係
- 学ぶ意欲を高める「南中型授業」の推進
  - ◆「直耕タイム」を生かした、考える授業
  - ◆3つの「あ」を大切にした、生徒の声や思いが響き合う授業
- 生徒会活動の充実
  - ◆生徒会テーマ「破伝煌（はてんこう）」を意識した諸活動の推進
- 社会とのつながり、自己の生き方を考える
  - ◆「なりたい自分を求める」社会へ踏み出す力づくり、地域と連携した学校教育

**効率的な組織運営**

- 組織的な学校運営の確立
- 教師の授業改善
- OJTによる個のスキルアップ
- 教育環境の整備

**評価**

<b>学校運営 の状況</b>	自己評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好 良好 概ね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価B の評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
				4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
				3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
				2	目指す方向がやや不十分で取組もばらつきがあり成果が安定しない
				1	目指す方向が不十分で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

<b>生徒の 状況</b>	自己評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好 良好 概ね良好 やや不十分 努力を要する	自己評価B の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
				4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
				3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
				2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
				1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

# I 思いやりの心、たくましい心

生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
互いを認め合い、切磋琢磨し合いながら自らの生き方を考え、豊かな人間性を育てている。	前期	概ね良好	概ね良好	南中学生は地域でも元気にあいさつをしてくれている。日頃の指導に感謝したい。チャレンジ55+では、中学生が積極的に地域のために活動している姿を見ることができて頼もしく思う。南学区を支える人材をぜひ育ててほしい。
	年度	概ね良好	概ね良好	生徒は、仲間意識をもって協力しながらよい学級をつくらうとしている。進路相談や情報提供は、今後も機会を多くして、たくましく生き抜く心を醸成してほしい。

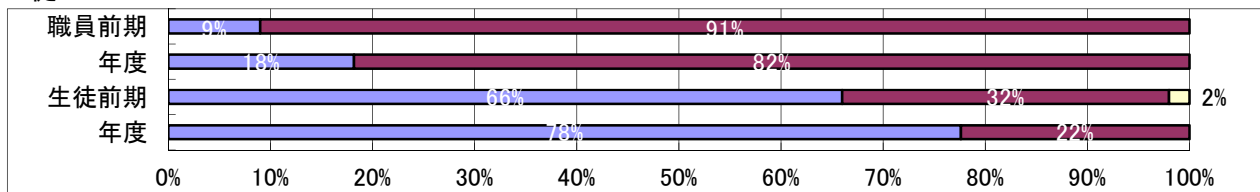
【前期(→年度)】  
各委員会以南中スローガンを意識した取組を行っていることで、生徒の意識の高まりが見られた。ただし、職員や保護者からはまだあいさつの元気が足りないという意見も上がっているため、生徒会や学年リーダーの話合いを通して行動として表せられるようにしていきたい。進路学習については1年生が高校学習会を行わなかったが、生き方の探求の視点では、チャレンジ55+での活動が昨年度より活発になっている。後半は進路についての情報発信を心がけたい。

【年度(→次年度)】  
行事等を通して助け合いや自己有用感を実感したことで評価が上がっている。キャリア講話やチャレンジ55+など職業について考える機会の充実も生徒の満足につながっている。学活での進路学習を充実させ、より具体的に将来について考えられるようにしたい。あいさつは、頑張っていると思われている生徒と、まだ不十分であると感じている大人との間に差異を感じる。小中合同あいさつ運動や、生徒会によるあいさつ強化活動であいさつに対する意識を高めていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1より良い集団生活を目指す学級活動・生徒会活動	(1)自主的・自治的な学級づくり	短学活や話し合い活動の充実、「共生」を意識した学校生活	3	3
	(2)スローガンを意識した生徒会活動	生徒会と学級をつなぐ委員会活動、生徒会テーマを意識した生徒主体の活動の推進		
2 自己の生き方の探求	(3)望ましい勤労観・職業観等の育成	進路学習、キャリア講話等の実施、各高校の情報提供、進路通信の発行	3	3

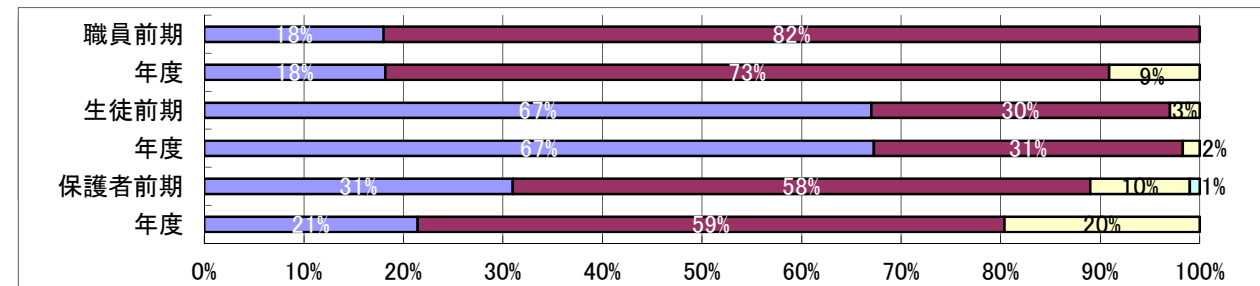
## (1)に関するデータ

職員：生徒指導の3機能(自己存在感・自己決定・共感的理解)や3つの「み」を生かした子どもとの関わりや学級経営ができていますか。(3.1)  
生徒：「違いを理解し、共に支え合って」お互いのよさを認め合いながら、協力してよい学級をつくらうと努力できましたか。(3.6)



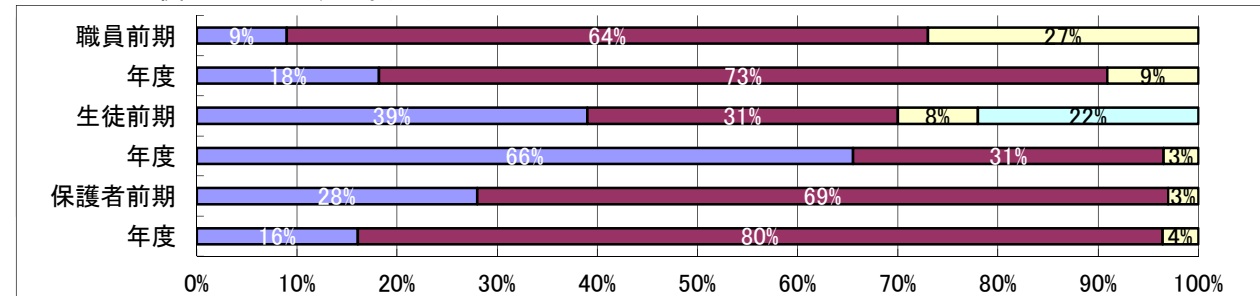
## (2)に関するデータ

職員：生徒会テーマを意識させながら、生徒による自主的、自治的な活動が行われるように支援していますか。(3.2)  
生徒：「南中スローガン」(あいさつ・拍手・歌声)を意識した学校生活を送っていますか。(3.6)  
保護者：お子さんは、「南中スローガン」(あいさつ・拍手・歌声)の一つである「あいさつ」を意識した学校生活を送っていると思いますか。(3.2)



## (3)に関するデータ

職員：生徒が自らの進路や生き方を主体的に考えるための進路学習(進路通信、キャリア講話等)が行われていますか。(2.8)  
生徒：進路学習(進路通信「羅針盤」や進路コーナー、キャリア講話など)は、自己の生き方の探求に役立っていますか。(2.9)  
保護者：進路学習(進路通信「羅針盤」や進路コーナー、キャリア講話など)は、お子さんが将来の生き方を考えることに役立っていますか。(3.2)



■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

II 自主的・自律的な生活、望ましい生活習慣				
生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
自主・自律した生活習慣を身に付け、健康・安全で規律ある生活を送ろうとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	メディアコントロールに関しては、家庭と連携して継続的な取組をお願いしたい。特徴的な取組である、フォーサイトの活用に関しては、生徒にも定着してきているようだ。必要感をもって使いこなせるよう継続して指導してほしい。
	年度	概ね良好	概ね良好	生徒側にもフォーサイトを活用しようという意識が育ってきている。今後も自律ある生活のために働き掛けてほしい。メディアの望ましい利用に関しても家庭への発信も含め今後も取り組んでほしい。
学自校己の改善の善の策概要と	【前期(→年度)】			
	自律に向けた生活指導について、生徒、保護者共に学年が上がるにつれて平均値も上昇している。この点については、ある程度の時間を要すること、すぐに結果を求めるべきではないと思われることから、引き続き自己決定の場を増やし、保護者との共通意識も高めていく。メディアコントロールに関しても、フォーサイトなどを活用した自己管理能力育成のための指導を通して意識の高揚を図るとともに、家庭内でのルールのもち方についてもさらなる啓発が必要である。			
学自校己の改善の善の策概要と	【次期(→次年度)】			
	自律に向けた生活について、生徒の数値が大きく改善されたが、職員・保護者はそれを実感していないことが読み取れる。大人が求める「自律」との乖離があると思われる。自己管理能力育成のための問い掛け、フォーサイトの活用などに力を入れたい。メディアコントロールについて、教師・生徒ともに数値が改善されたが、保護者の「あまり思わない」が増えた。学校での指導はもちろんだが、家庭で改めて使用するルールを確認することなどを求めている。			

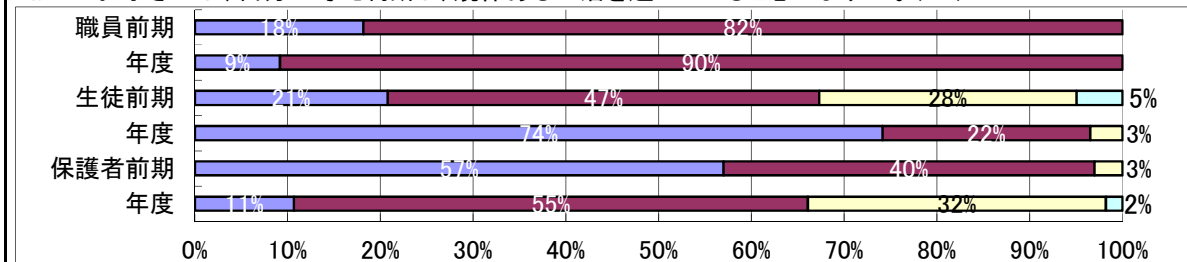
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
3安全で規律ある学校生活	(4)自律に向けた生活指導及び安全教育の充実	PDCAサイクルを意識した学校生活の推進、キャプテン会議の実施 交通安全教室や安全点検の実施、実践的な避難訓練等の実施	3	3
4生徒理解・生徒支援	(5)日常的・積極的な教育相談と支援の共通理解	「いつでも、どこでも」教育相談の推進、共通理解に基づいた生徒支援 関係機関やSCの活用、小学校との連携、三者面談	3	3
5心身の健康の保持増進	(6)健全な生活習慣の育成	メディアコントロールの啓発、歯磨き指導、タイムリーな保健だよりの発行 食に関する情報提供、早寝・早起き・朝ごはんの啓発と体力向上の働きかけ	3	3

(4)に関するデータ

職員：「自分で考え判断し、行動する」ことを意識させながら、学校生活を送るための支援を行っていますか。(3.1)

生徒：あなたは、「自ら考え判断し、行動する」ことを意識した学校生活を送っていますか。(3.7)

保護者：おさんは、自分で考え判断し、規律ある生活を送っていると思いますか。(2.8)

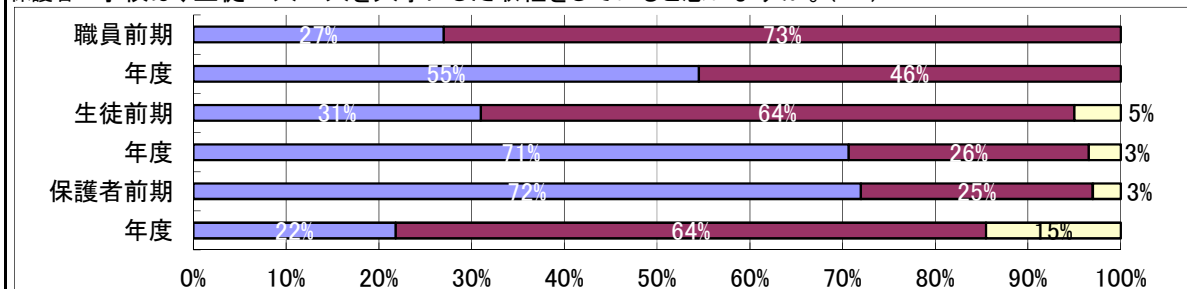


(5)に関するデータ

職員：教育相談の充実や関係機関との連携を図り、いじめ・不登校防止に努力していますか。(3.5)

生徒：悩み、困りごとを、友達や先生、スクールカウンセラーに相談できる雰囲気や窓口がつけられていると思いますか。(3.7)

保護者：学校は、生徒一人一人を大事にした取組をしていると思いますか。(3.1)

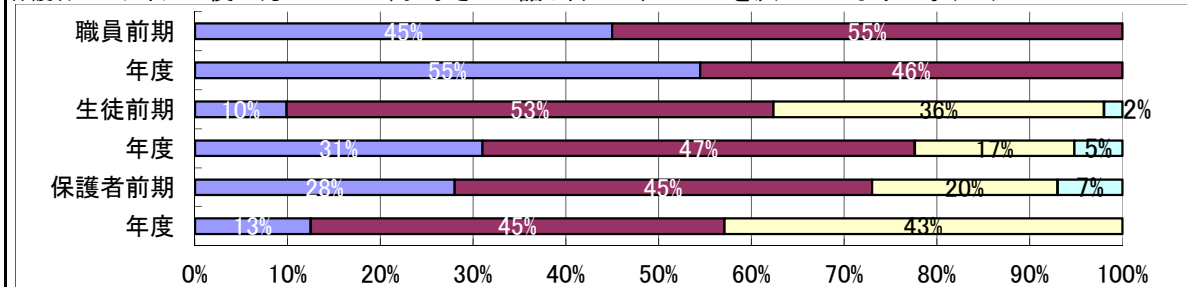


(6)に関するデータ

職員：「メディアコントロール」や「虫歯」等の健康課題についての取組が行われていますか。(3.5)

生徒：あなたはメディアコントロールを意識した生活ができていますか。(3.0)

保護者：メディアの使い方について、お子さんと話し合っ、ルールを決めていますか。(2.7)



■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

### Ⅲ 主体的学習態度・基本的学習習慣

生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
主体的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら確かな学力を向上させようとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	3つの「あ」は、小中共通の課題とも言える。小学校とも連携しながら、9年間で子どもたちの学習意欲を育ててもらいたい。子どもたちに寄り添いながら、それぞれに合った形で、学力を向上させられるよう工夫してほしい。
	年度	概ね良好	概ね良好	家庭学習を含めた自律的な学習態度形成のために、フォーサイトを活用するなどして、PDCAサイクルでがんばってほしい。

校 自 己 改 善 策 の 概 要 と 学	【前期(→年度)】
	3つの「あ」に関しては、生徒の意識を高めていく必要がある。授業や短学活等全ての活動で、全職員が共通認識で粘り強く励み続けていく必要がある。家庭学習に関しては、個人差もあり特に下位の生徒には学習内容や方法を示す必要があるため、国・数・英を中心としてその日の授業内容を復習するための課題を提示していく。また、「一人勉強ノート」を個に応じて工夫できるよう、委員会活動として家庭学習の取り組み方の例を示し、校内に掲示するなどしていく。さらに、小テストごとや単元ごとに、希望者を中心に短時間でできる補充学習の機会を提供し、基礎・基本の定着に努めていく。
	【次期(→次年度)】
	授業や家庭学習への取組に個人差が見られる。学習への意欲を高めるためには生徒が必要感を感じる事が大切であるため、学級活動の時間で、進路学習に力を入れていく必要がある。また、単元ごとにスモールステップで定着度を確認できる機会を設けていく。授業やテストで生じた学習面の不安や疑問を解決するために、放課後に各教科担当ごとに個別の指導をする時間を設定し、支援をしていく。

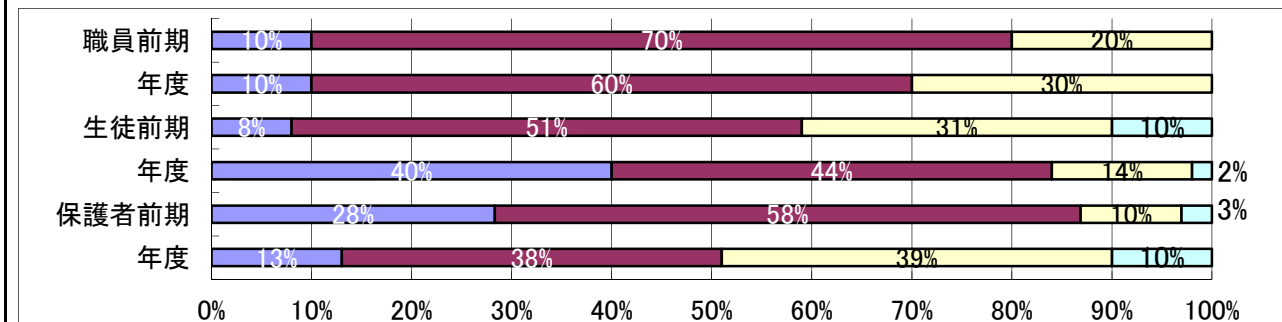
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
6 基本的学習習慣	(7)主体的・協働的学習態度の育成	南中学生学習のまじりの徹底、3つの「あ」の実践	3	3
		PDCAサイクルを意識した家庭学習への取組		
7 確かな学力	(8)確かな学力を支える諸活動 (9)個に応じた指導	南中ドリル、コラム学習、朝読書の実施、情報教育、「特別な教科 道徳」の実践	3	3
		諸検査データの分析と活用、回復指導		

#### (7)に関するデータ

職員：生徒のPDCAサイクルによる家庭学習の充実を図るための支援を行っていますか。(2.9→2.8)

保護者：お子さんは、PDCAサイクル(自分で計画を立て実行・評価し改善するサイクル)を意識した家庭学習に取り組んでいますか。(2.6→2.5)

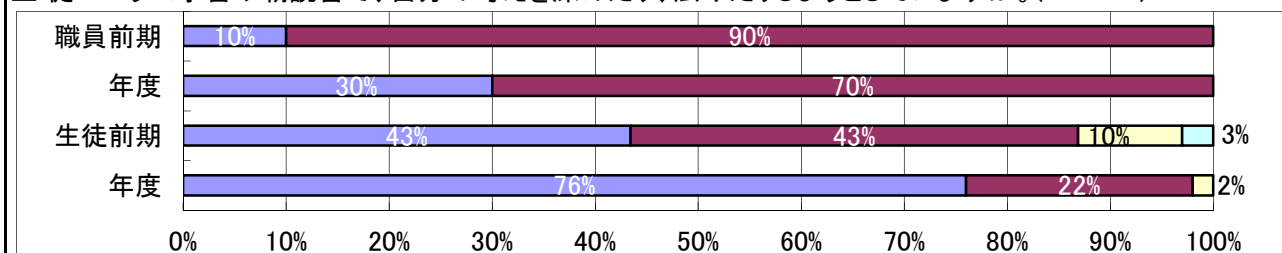
生徒：あなたは、PDCAサイクル(自分で計画を立て実行・評価し改善するサイクル)を意識した家庭学習に取り組んでいますか。(3.1→3.2)



#### (8)に関するデータ

職員：確かな学力を支える諸活動(南中ドリル・コラム学習・朝読書)が効果的に行われていますか。(3.1→3.3)

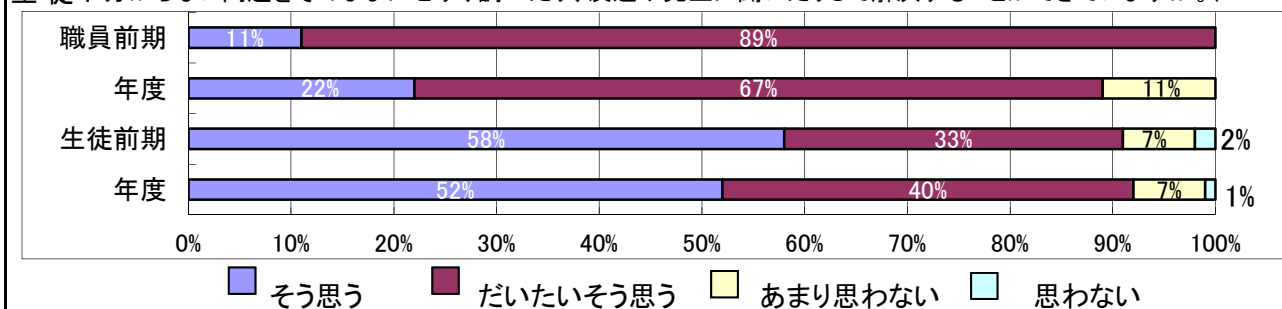
生徒：コラム学習や朝読書で、自分の考えを深めたり、広げたりしようとしていますか。(3.3→3.7)



#### (9)に関するデータ

職員：諸調査やテスト等の結果を活用し、授業や回復指導などによる個に応じた指導を心がけていますか。(3.1→3.1)

生徒：分からない問題をそのままにせず、調べたり、友達や先生に聞いたりして解決することができますか。(3.5→3.4)



■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない



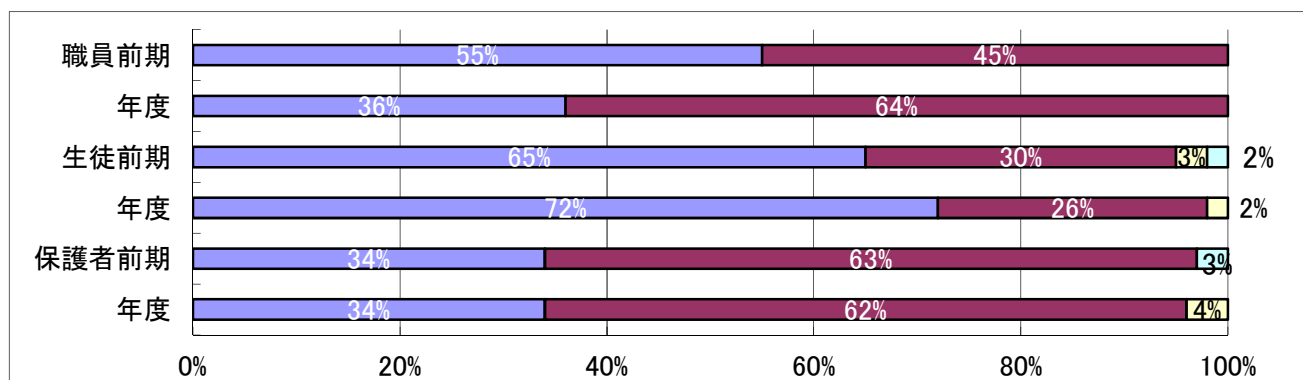
#### IV 保護者・地域との連携

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の取組を保護者や地域へ分かりやすく伝え、地域の教育力を有効に活用している。	前期	概ね良好	南中学生のがんばりは、保護者や地域にも確実に届いている。また、相変わらず地域は学校に協力的で、それを活用した活動も適切に行われている。これからは、情報の双方向のやりとりについて、一層工夫してほしい。
	年度	概ね良好	良好

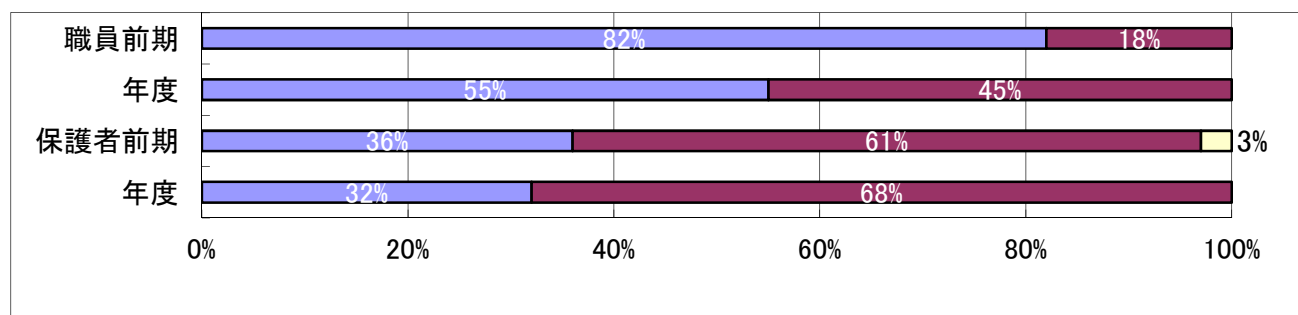
校自己改善策の概要と学	【前期(→年度)】
	情報発信の項目は、おおむね高い数値となっている。学年通信・学校報は定期的に発行を継続できた。ホームページが刷新され、運用を始めた。定期的に内容を更新し、リピーターが生まれるようなホームページづくりを心がけたい。保護者・地域連携は、昨年より評価が改善した。地域コーディネーターの虻川さんの貢献度は非常に大きい。チャレンジ55+など、地域の素材を生かした活動を今後も継続し、地域との連携を深めていきたい。
	【年度(→次年度)】
	情報発信の項目は、昨年度に比べて職員はマイナス、保護者は横ばい、生徒は向上。生徒は、通信や先生方の声かけにより自分たちの活動を振り返り、活躍を実感できている結果と言える。地域の人たちには「もっと中学校のことを知りたい」というニーズがあるようだ。ホームページやメールによるおたより発行など、工夫できるころはあるかもしれない。今年度のチャレンジ活動は、多彩な内容で充実していたが、コーディネーターの虻川幸雄さんの貢献は大変大きい。これも、地域での活動がもっと見えるように工夫すれば、数値も向上していくものと思われる。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
14 情報の受発信	(10)学校と家庭・地域をつなぐ諸通信の発行	地域施設での掲示、HPIによる発信、PTA会報の全戸配付	3	4
15 大館盆地の教育力の活用	(11)保護者・地域と連携した生徒会活動	南中PTAの日、講演会等の実施、学校評議員との連携	3	4
	(12)地域人材の効果的な活用	地域コーディネーターとの連携、子どもハローワークや地域行事参加の推奨		

(10)に関するデータ  
 職員：学校報や学年通信、HP等で、保護者・地域に学校や生徒の活動の様子を効果的に伝えていきますか。(3.5→3.4)  
 保護者：学校報『小石台』や学年だより、HPなどを通して、学校や生徒の様子が伝わっていますか。(3.3→3.3)  
 生徒：学校報『小石台』や学年だよりを通して、学校や生徒の様子が伝わっていますか。(3.6→3.7)



(11)(12)に関するデータ  
 職員：地域や保護者との連携を大切にしたい取組を行っていますか。(チャレンジ55+、PTAや地域での活動等)(3.8→3.5)  
 保護者：地域貢献活動、子どもハローワークへの参加などは、お子さんの心の成長や今後社会で生き抜くために役立っていると思いますか。(3.3→3.2)  
 学校は、保護者や地域との連携を大切にしたい取組を行っていますか(PTA、地域での活動等)(3.3→3.3)



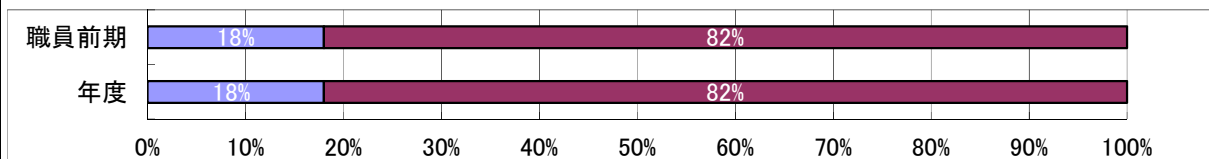
■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

V 組織・運営				
学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント	
「自律」「共生」をキーワードに特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	前期	良好	良好	若手・中堅層の教員のがんばりが学校に勢いをもたらしており、生徒が伸び伸びと活動できていることに感謝したい。今後も、先生方の力を合わせて、南中をより良い学校にしていってほしい。
	年度	良好	良好	PDCAサイクルを生かした学校運営がなされ、事務職員の積極的な関わり等望ましい組織運営がなされている。今後も職員で力を合わせてがんばってほしい。
改自 善己 策評 価の 概要 と学 校の	【前期(→年度)】			
	組織的學校運営の項目は、おおむね昨年度より改善されている。昨年度より若手の教員が多い職員構成となったが、中間層の教員を中心として、教育活動をよりよく改善していこうという機運が高まっているものと捉えられる。今後も教員の創意工夫を生かして、チーム南中として学校運営のたゆまぬ改善に努めたい。 事務職員との連携は、全員が最高評価となった。事務職員が学校運営に積極的に関わることで、教育活動が円滑に進められている。事務職員と教員とが互いに声をかけ合いながら、子どもたちのために学校がスムーズに動いていけるように働きかけていきたい。			
【年度(→次年度)】				
組織的學校運営に関しては、前期に比べて少し数値が悪化したが、これでも昨年度より改善されている。特に、「4」と評価した職員が昨年度より大きく増加したことは、よい傾向と言える。ミドルリーダーを始めとした、先生方の努力に感謝したい。今後とも、互いに意見を出し合いながら「最適解」を導き出せるようなチーム力向上の方策を模索していきたい。 事務職員との連携は、前期に引き続き高い評価となった。今後も連携を密にして、学校が円滑に運営できるように努めていきたい。				

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
10 組織的な学校運営	(13)運営方針の浸透と主体的参画	経営方針・重点の明示と共通理解、目標達成のための職員の挑戦とチーム力の向上	3	3
	(14)PDCAサイクルと働き方改革を意識した経営改善	日常的な改善意識、前例にとられない個々の意識改革と創意工夫		
11 事務職員との連携	(15)事務処理の効率化・適正化と設備管理	事務職員との連携、定期的な点検による設備管理及び予算管理の適正化	5	5

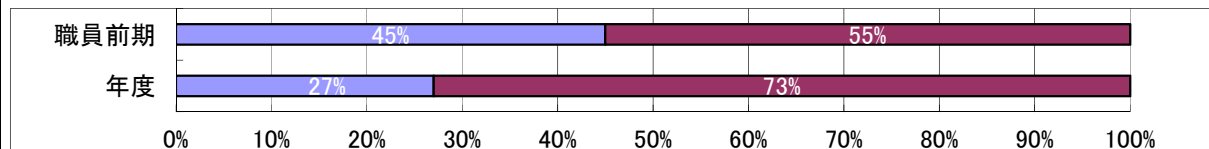
(13)に関するデータ

職員：経営方針や重点施策の具現を目指し、効果的な組織運営、協働体制による共通実践が行われていますか。(3.2→3.2)  
(南中スローガン「あいさつ・拍手・歌声」、3つの「あ」など)



(14)に関するデータ

職員：PDCAサイクルを意識した学校運営により、働き方改革や業務改善が行われていますか。(3.5→3.3)

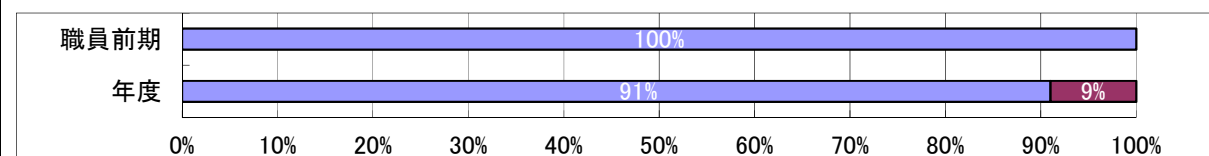


◇PDCAサイクルとは、Plan/Do/Check/Actionの頭文字を揃えたもの。計画(Plan)→実行(Do)→検証(Check)→改善(Action)の流れを次の計画に活かしていくプロセスのこと。

【主な実践例】・体育祭や学校祭等の行事等の反省を職員会議で協議し、改善点を具体的に示して次へつなげる。

(15)に関するデータ

職員：事務職員との連携により、私費会計の適切な執行や事務処理負担の軽減、施設設備管理等が定期的に行われていますか。(4.0→3.9)



■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

## VI 特色ある教育活動

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
地域に根ざした特色ある教育活動に、誇りと気概をもって取り組んでいる。	前期	概ね良好	学校行事に関しては生徒も保護者も高い評価で、素晴らしい。今後も楽しみである。教育課程については、今後も突発的な事態が起こることもあると思うので、臨機応変に対応できるように協力して取り組んでほしい。
	年度	概ね良好	良好

### 校自改評善価策の概要と学

#### 【前期(→年度)】

体育祭に向けての練習の時間が生徒にとっては十分でなかったようだが、限られた時間の中で生徒たちは活動に取り組み、達成感を得ている。今回は休校もあったので、時間的な余裕がなかったが、生徒が満足のいく練習ができるように時間を確保していきたい。そのためにも行事の実行委員会などを早いうちに開催し、計画的に進めていきたい。  
急遽2日課にする日があったが、先を見通して予定を伝えられるようにしたい。時数に余裕があれば、5時間授業で6校時をカットするなどして対応できるようにしたい。

#### 【年度(→次年度)】

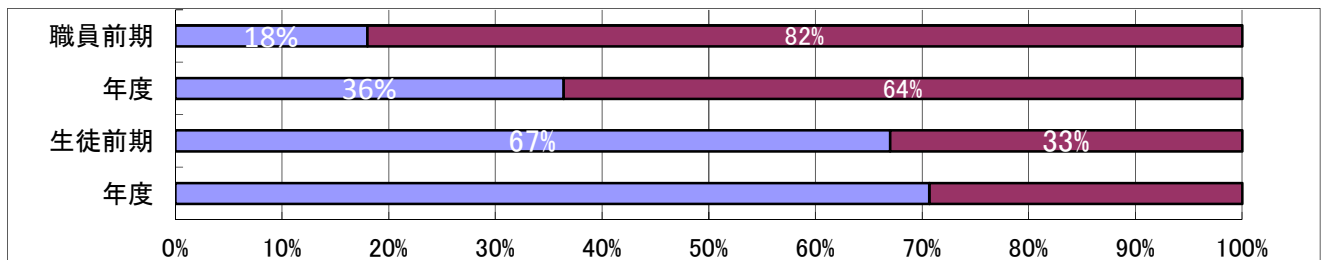
南中祭、なべっこ、球技大会など生徒が楽しみにしている活動を例年通りに実施することができ、多くの生徒が達成感を得ている。準備等の時間も例年と同様に設定し、活動時間は十分であったと思う。  
放課後の時間にももう少し余裕があれば、生徒も職員も落ち着いて過ごせると思う。日課を見直し、時間の余裕を生み出せるよう検討していきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
12特色ある教育課程の編成	(16)創意ある教育課程の編成	創意ある教育課程と生徒の活動を支える週案の提示、日課の効果的な運用	3	4
	(17)会議の精選と各担当との連携	年間予定を見据えた会議の調整と提案事項の事前確認、担当との連携		
13学校行事等の計画	(18)感動を呼ぶ学校行事の実現	計画的な行事実行委員会の実施と共通理解の段取り	3	4

#### (16)に関するデータ

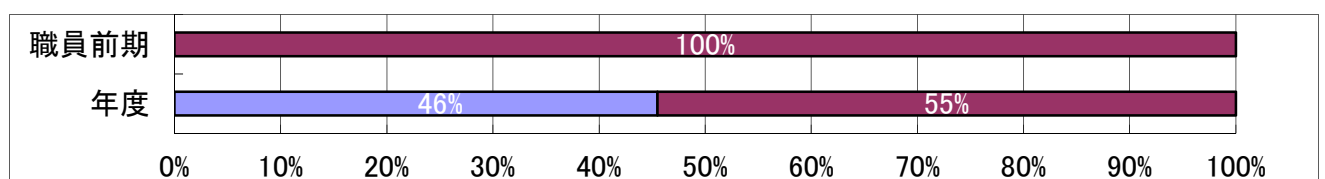
職員：創意ある教育課程が編成・実施され、授業時数の確保、諸行事の精選と工夫など、効率的な取組がされていますか。(3.4)

生徒：日課は、自分たちの活動時間を保障するものでしたか。(3.7)



#### (17)に関するデータ

職員：各分掌や担当者との調整を図り、年間予定を見据えた会議の調整や資料の事前確認がなされていますか。(3.5)

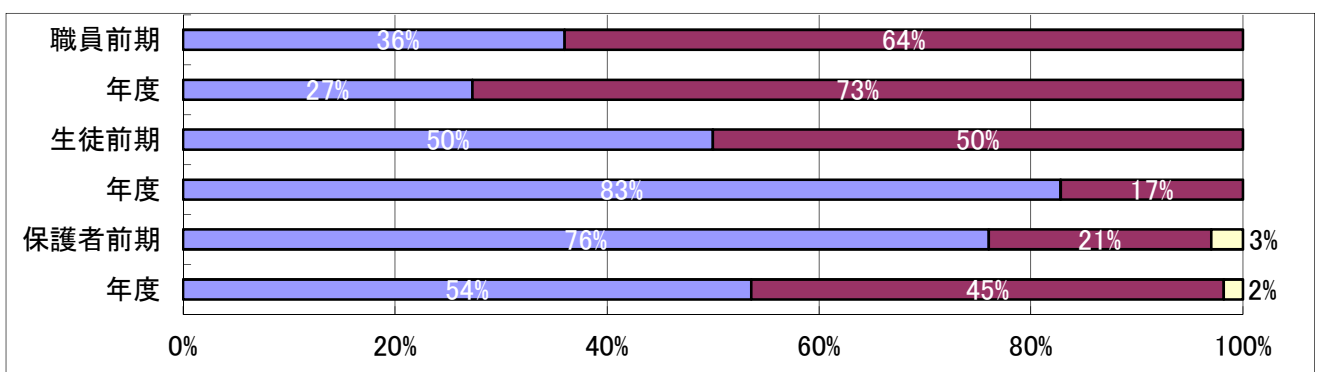


#### (18)に関するデータ

職員：行事実行委員会が有効に機能し、職員の共通理解のもと、感動を呼ぶ行事が行われていますか。

保護者：学校行事(南中祭、激励会など)が効果的に行われ、生徒の成長につながっていると思いますか。(3.5)

生徒：学校行事では自分の役割を果たそうと努力し、達成感を感じることができましたか。(3.8)



■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

## Ⅶ 教師の研修

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
学校の教育活動の向上のために、教職員の研修が活発に行われている。	前期	概ね良好	直耕タイムについては、ここ数年の継続した取組で、やるべきことは整理されているように感じる。あとは、生徒がより活発に話し合うために、先生方がどのような仕掛けをするのか、研究を深めてほしい。
	年度	概ね良好	直耕タイムの充実に向けて職員が取り組んでいるのが伝わってきた。顔が上がる、声が高くなる指導の工夫があった。授業の充実に向けた先生方の取組は素晴らしい。来年度もがんばってほしい。

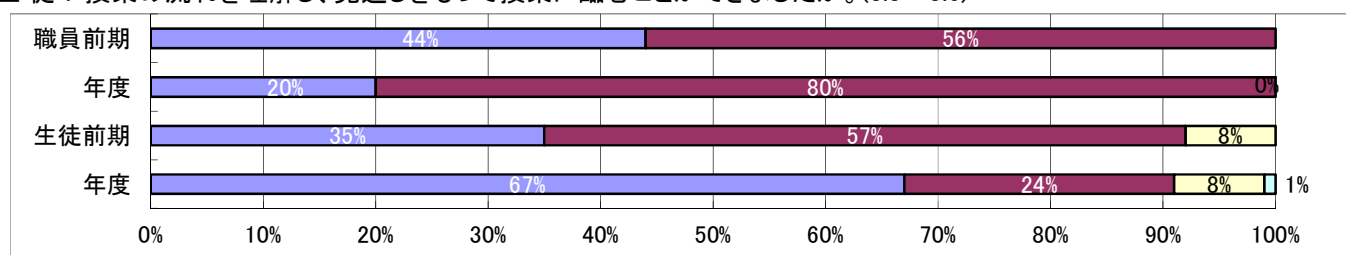
学 自 校 己 の 評 改 価 善 の 策 概 要 と	【前期(→年度)】
	「直耕タイム」の充実のためには、各教科担当の教師が「学びの深まり」を生徒の具体的な姿でイメージすることが大切だと考える。50分で生徒がどのように変容していればよいのか、そしてどのような姿が「見方・考え方」を動かしている姿なのかを教師がしっかりとイメージできるよう、「授業づくり構想シート」を作成し、活用できるようにしていきたい。また、今日の授業ではどのような取組ができれば、直耕タイムで深まったといえるのかを生徒とも共有し、共に授業を充実させていきたい。
	【年度(→次年度)】
	授業構想シートを活用することで、直耕タイムのイメージを具体的に持って授業に臨めるようになった。生徒の数値も上がってきている。今後は、話し合いをより活発にすることが課題である。3学期も、日々の授業づくりに授業構想シートを活用し、話し合いの深め方について研修を進めていきたい。1月には、全職員で道徳の授業を見合う会を設定し、考え議論する道徳の在り方について研修を深めていく。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
14 授業改善の推進	(19) 主体的・協働的に活動し、学びを深める授業づくり	生徒が見通しをもち学び合う場の設定(学習プロットの活用、板書の工夫、呼び合う話し合い) ゴールの姿から逆算したコーディネート(「直耕タイム」の充実、振り返りの工夫等) 各教科の研究主題と重点の設定と実践	3	3
15 研修の実施及び活用	(20) 「チーム南」の資質向上を目指した研修の充実	全員参加型の校内研究会の推進及び相互授業参観の実施 学年部・指導部・教科部等におけるOJTの推進	4	4

### (19)に関するデータ

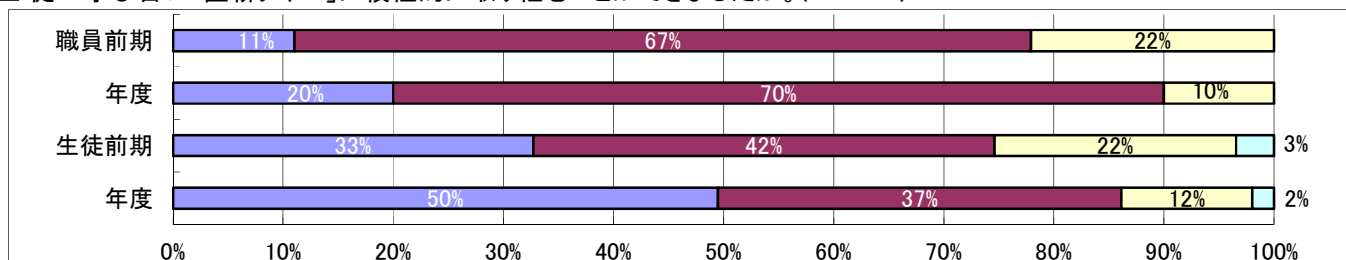
職員：課題設定や学習プロット等の活用により、「めあて(課題)とふりかえり」のある探究型授業を展開していますか。(3.4→3.2)

生徒：授業の流れを理解し、見通しをもって授業に臨むことができましたか。(3.3→3.6)



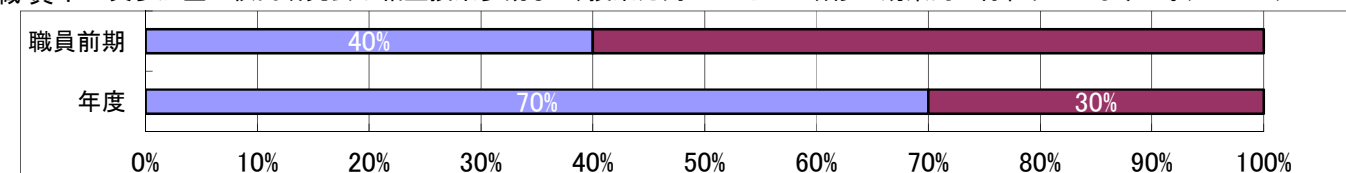
職員：「直耕タイム」の充実を図り、学びを深めたり(深化)、学びを高めたり(進化)することができていますか。(2.9→3.1)

生徒：学び合い「直耕タイム」に積極的に取り組むことができましたか。(3.1→3.3)

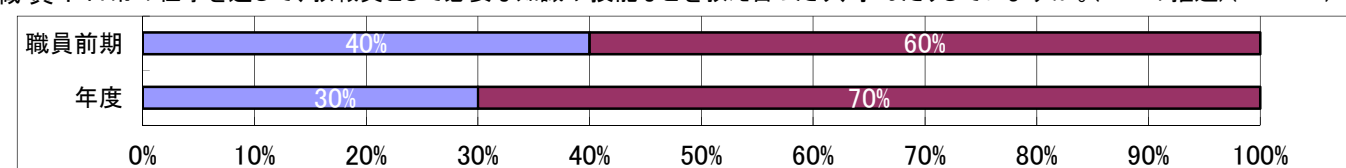


### (20)に関するデータ

職員：全員参加型の校内研究会や相互授業参観など、授業力向上のための研修が効果的に行われていますか。(3.4→3.7)



職員：日常の仕事を通して、教職員として必要な知識や技能などを教え合ったり、学んだりしていますか。(OJTの推進)(3.4→3.3)



■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない